

令和4年度 第2回 大阪市立城東幼稚園 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立城東幼稚園

校園長名 武田 麻由子

日 時	令和4年11月15日（火）9時45分～10時45分	
場 所	城東幼稚園 リズム室	
出席者	委員など	9名
	校園	園長
	区役所	子育て教育担当 1名
議 題	(1) 令和4年度 「運営に関する計画」 中間評価について	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ○園長より、教育活動について、令和4年度運営に関する計画、中間評価（案）について、保護者アンケートの結果と添付資料をもとに、パワーポイントで説明。 ○各委員の立場から幼稚園の教育内容について意見交換を行う。中間自己評価や取組内容について理解を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートは記名式と聞いた。記名式は肯定的な回答ポイントは上がりやすいと考える。それも含めて、より良い教育内容を今後も続けてほしい。 ・幼稚園は、年々自然が豊かになった。それを保育に生かしている。先生方の努力が分かる。 ・城東14町会の一部では子どもの数が増えている場所がある。しかし、幼稚園の入園希望者は減少傾向にあると聞いた。城東幼稚園は3歳児入園希望者の抽選があり、抽選にもれた方は子どもをどこかに入園させたい、母親も就労したいなど、保護者にも様々な事情はあると思う。幼児教育の無償化に伴い、幼稚園を取り巻く状況は変化しているが、幼稚園教育の良さを広めて行けば、選択肢が広がり、保護者も幼稚園に行かせようと思うのではないか。 ・幼稚園はその子に合わせて関わってくれている。毎日担任から、子どもたちが目的をもって遊ぶ様子や、友達との関わりなど、園での様子を詳しく聞くことができる。幼稚園の良さを知り、入園してくれる人が増えてくれたらいいと思う。 ・コロナ禍でも小学校の協力を得て、連携しながら校庭の活用や授業見学などをしていることは、就学への期待につながる。今後もこのような取組を進めてほしい。 ・特別支援教育の観点では、幼稚園では一人一人を理解して暖かく育ててもらっている。進学時の引継ぎをしてもらっているので、今後、幼稚園教諭にも、小学校進学後の状況を知り、幼小連携をさらに深めてほしいと願う。 ・地域、幼稚園、小学校がこれだけ密に連携している所は少ない。コロナ禍で難しいこともあるが、今後もより密接に連携を深めていけたらよいと思う
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回城東幼稚園学校協議会次第 ○園長室だより ○あんぜんだより ○生活習慣アンケート結果 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度「運営に関する計画」中間評価 ○野菜カレンダー ○城東レシピ
備 考	傍聴者[0名]	